

光の帯が交錯する色彩感・深い情調を響かせる独特な技法はまさにミ・ベモルの世界である。

# ミ・ベモル サクソフォンアンサンブル

## 第26回定期演奏会

Mi-Bémol Saxophone Ensemble

The 26th Subscription Concert

at The Izumi Hall, Osaka

[http://homepage.mac.com/mi\\_bemol/](http://homepage.mac.com/mi_bemol/)

### PROGRAM

ワーグナー:

ジークフリート牧歌

WAGNER:Siegfried-Idyll

ブラームス:

ハイドンの主題による変奏曲

BRAHMS:Variationen über ein Thema von Joseph Haydn Op.56b

チャイコフスキイ:

弦楽セレナーデ ハ長調

TCHAIKOVSKY: Serenade for Strings

2010年

11月13日(土)開演19:00(開場18:30)

いずみホール

●JR大阪城公園駅より徒歩3分・地下鉄OBP駅より徒歩約5分/有料駐車場完備

7:00pm Saturday, November 13, 2010 at The Izumi Hall, Osaka

■主催:ミ・ベモル サクソフォンアンサンブル

■協賛:野中貿易株式会社

■後援:いずみホール[財団法人住友生命社会福祉事業団]

日本サクソフォーン協会、関西吹奏楽連盟、大阪音楽大学同窓会《幸楽会》

■マネジメント:クラシック・ハウス 0797-25-7262



■入場料(税込・全席指定): ●未就学児童のご入場はご遠慮ください。

[前売券] A席:4,000円 B席:3,000円 C席:2,500円

[当日券] A席:4,500円 B席:3,500円 C席:3,000円

### 前売・予約:

■電子チケットぴあ 0570-02-9990 (P-code 118-352)

■いずみホールチケットセンター 06-6944-1188

■クラシック・ハウス 0797-25-7262

[http://www.music.zaq.jp/classic\\_house](http://www.music.zaq.jp/classic_house)

「ミ・ベモル」とはフランス語の「ミのフラット」を意味しています。サクソフォンは移調楽器といわれ、アルトサックスやバリトンサックスで「ド」の音を演奏すれば、実音で「ミのフラット」が鳴るように作られているところが、このアンサンブルの名前の由来です。ソoprano、アルト、テナー、バリトン、バスの5種類のサクソフォンだけのアンサンブルで、クラシックを中心とした様々なジャンルの音楽をレパートリーにしています。

1989年、前田昌宏の呼びかけにより結成。昨年には創立20周年を迎ました。定期演奏会をはじめ、各地での依頼演奏、FMやBS放送出演等幅広い活動を通して、音楽性豊かな、そして繊細かつダイナミックな演奏は数多くのファンを魅了してきました。

更にその活動は海外にも及び、ニューヨーク・カーネギーホールを含むアメリカ・カナダ、さらにフランス・イタリア・スペイン、また中国やタイなどアジア諸国へのコンサートツアーを幾度となく重ねています。各地のホールや教会など大きな会場のほか、公園やぶどう畠などでも演奏会を開き、心のふれあいを通じた国際交流を果たしています。また2006年スロヴェニアで開催された世界サクソフォン会議においては、5日間の開催期間を通じ最も賞賛を得た演奏団体として、各国の代表から「今日ある世界の最高峰」と位置づけられるに至りました。

現在12枚のCDが発売されており、特に「シェヘラザード」は、音楽専門誌でも推薦されるなど優れた評価を得ています。また、前パリ音楽院教授ダニエル・ドウファイエ氏や現パリ音楽院教授クロード・ドゥラングル氏を招聘してリサイタルやクリニックを主催するなど、文化活動、青少年の育成、生涯教育にも寄与しています。